

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ブロッサム	代表者	藤原 美里	法人・事業所の特徴	開設してから、5年目になりますが、「地域の人気者」をモットーに地域に密着した事業所を目指し、利用者・ご家族、地域の方に留まらず一緒に働くスタッフも幸せになってもらえるように心がけています。
事業所名	小規模多機能センターきらり妹尾	管理者	藤原 美里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	2人	2人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者が生き生きと生活できるように、以前の生活や習慣などを把握してニーズに添ったケアを心がける。	本人・家族とコミュニケーションを図り知り得た情報や要望などを日々話し合いの場を設け共有できた。	皆さんで話し合っていることが伝わりました。	個別計画の見直しは短時間でも会議を開き現状を反映する意識をもつ。
B. 事業所のしつらえ・環境	本人が親しみやすい物を設置し、生活しやすく活動しやすい環境をつくる。コロナ対策をしながら季節を感じて頂けるように工夫する。	使いなれた物を持参して頂きか活動しやすい環境づくりを行った。季節を感じられる物を作成し飾った。利用者が楽しみを持ち活動ができた。	綺麗にされています。	家族や地域の方に気軽に参加できる行事等を計画実施していく。事業所内の整理整頓を心掛ける。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナにより活動が出来ていないが、少しでも関わりを持ち活動できるように情報を集める。	消毒液の配布などチラシでの呼びかけなどを行った。コロナ禍でも地域の方の関われる場が少しだけあった。	以前のようにまた交流できる状況になるといいですね。	参加可能な地域の交流イベントに協力する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	社会資源をしり、自宅に行く際に本人・家族からの聞き取りを行い活用できるよう心掛ける。	訪問時・送迎時などにご家族と話をしたり、地域の方とコミュニケーションを図ったことで、顔馴染みになり活動内容などを話せた。	出来る活動をされていると思いました。	感染予防に努めてご利用者が外出や交流できる機会を多く作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナにより開催が難しくなっているが、感染対策をしながら開催し地域の方と情報の共有ができるようにする。	書面を配布して情報を共有し、コロナが落ち着いたら速やかに呼びかけし運営推進会議を開催する。	書面での報告に数字だけでなく写真や説明があったら分かりやすい。	運営推進会議の中で事業所の活動や報告を行い、委員との交流を深め、地域で支える仕組み作りに貢献する。

F. 事業所の 防災・災害対策	コロナの感染対策を行いながら、 防災訓練を行い、災害に備え手順 等を周知する。	災害マニュアルを作成し、避難経 路と備蓄品の確認を行い、コロナ が落ち着いたところに防災訓練を 開催する。防災訓練が出来ていな し。		災害対策・計画内容や訓練の様子 等 SNS 上において広報を行い地 域に信頼される事業所を目指す。
--------------------	---	--	--	---